

宮内庁御料牧場

IMPERIAL STOCK FARM



所在地 / 〒329-1224 栃木県塩谷郡高根沢町大字上高根沢 6020

目的

御料牧場は、皇室の用に供する家畜の飼養、農畜産物の生産及びこれらに附帯する事業を行う機関とする。（宮内庁組織令第32条）

沿革

明治 8年 千葉県下に内務省所管下総牧羊場及び取香(とっこう)種畜場設置(4.161ha)
明治13年 合併して下総種畜場と改称
場内に獣医科設置(明治15年文部省に移管)
明治14年 農商務省に移管
明治18年 宮内省に移管下総種畜場と称す(3.487ha、馬483頭、牛76頭、めん羊3,771頭、豚13頭)
明治19年 高堀出張所と改称(御料局所管)
明治21年 印旛出張所と改称
明治21年 下総御料牧場と改称(主馬寮所管)
大正11年 下総牧場と改称
大正12年 2,010haを帝室林野局に移管(縮少整理)
昭和 9年 養鶏事業開始
昭和16年 そ菜事業開始
昭和17年 下総御料牧場と改称
昭和20年 主殿寮所管となる
昭和21年 876haを帝室林野局に移管(政府緊急開拓計画)
昭和22年 宮内省官制廃止宮内府となる
昭和23年 130haを農林省に移管(自作農創設特別措置法)
昭和24年 宮内府法改正宮内庁となる(管理部所管)
昭和31年 宮内庁附属機関となる
昭和43年 種雄馬『サラブレッド種』生産事業廃止
昭和44年 新東京国際空港設置計画に伴い現在地移転、御料牧場と改称
昭和59年 宮内庁施設等機関となる
昭和62年 起業100年
平成29年 起業130年

飼養家畜・家禽の種類と定数

- ・馬 42頭(アングロアラブ種、クリーブランドベイ種など)
- ・乳牛 30頭(ホルスタイン種、ジャージー種)
- ・めん羊 425頭(サフォーク種)
- ・豚 87頭(パークシャー種、デュロック種)
- ・鶏 1,309羽(卵用種、肉用種)
- ・きじ 76羽



新馬調教



乳牛



めん羊

畜産課

動物の飼養管理及び畜産品の生産

- (1) 乗馬、ばん馬の生産育成
- (2) 牛乳、乳製品(バター・クリーム・カルゲルト・ヨーグルト・チーズ)の生産
- (3) 羊肉・豚肉・鶏肉の生産
- (4) 肉加工品(ハム・ソーセージ・ベーコン・缶詰・くん鶏)の生産
- (5) 鶏卵の生産
- (6) 家畜、家禽の衛生及防疫
- (7) 食肉及び乳製品の微生物検査及び成分規格検査
- (8) 食品の衛生管理

農産課

牧草及び野菜の生産

- (1) 牧草の栽培
乾牧草・ヘイレージ
- (2) 野菜の栽培
トマト・レタス大根その他約20種類
- (3) 庭園・樹林地の管理造成
- (4) 農機具の点検整備



豚



牧草の収穫作業



採卵鶏



そ菜圃場



貴賓館



外交団接待

◆ 位置及び面積

栃木県塩谷郡高根沢町と芳賀郡芳賀町の
両町にまたがる地(宇都宮市中心街から北
東約13km)にあり、北に那須連山、西に日
光連山を眺め、南に筑波山を望む標高145m
の丘陵地、約252haの地積を占める。

◆ 交通

JR宝積寺駅から車で約10分
同宇都宮駅から車で約30分

◆ 組織

牧場長 — 次長

